紫波ネット2000

12月号 No.565

「わが町を知る」「わが近隣を知る」「わが将来を知る」ための総合広報

発行／岩手県紫波町　編集／企画課

特集

めざせ！交流人口二百万人

体験者が語る

私たちの「交流」

MY MESSAGE

私からのメッセージ

松下壽夫さんから

城山の豊かな自然に囲まれての人生の助言

◆まつしたひさお　弁護士。岩手県弁護士協同組合理事長。金曜に行われている「心配ごと相談所」の法律相談を担当。

最初はこの「心配ごと相談所」の法律相談に来る方も少なかったんですが、回を重ねるごとに相談者は増えているという感じですね。多いときでは六、七人が相談に見えられます。

そうした中で、多い相談が「離婚問題」です。少し前からマスコミでも取り上げられることが多くなった中高年の方からの相談が目立ちますね。これも時代でしょうか。

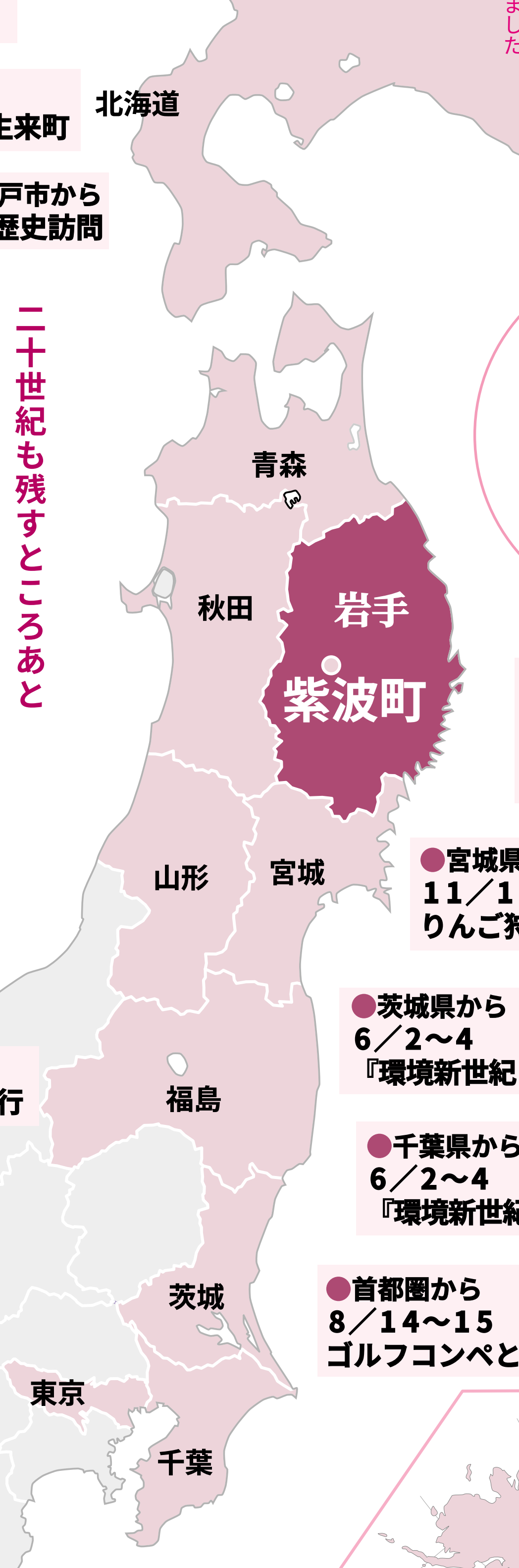
それと多重債務の問題。さらに農家の相続問題や土地の境界問題など、農業が重要な位置を占める紫波だけに、そうした相談も多くなってきています。

相談者がいらっしゃらない時など、相談室から見える城山を眺めたりするんですが、いい感じの自然ですね。四季の移ろいを感じられる紫波町はいいところだと実感しています。

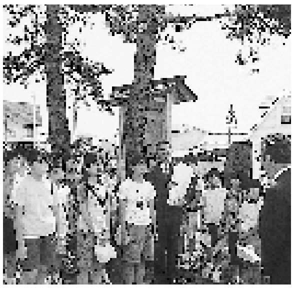
（十一月十七日「心配ごと相談所」会場で）

県外との交流

二十世紀も残すところあとわずか。『交流人口二百万人』を目指す町の今年一年を振り返ってみると、県内はもとより、日本国内、海外までも実に多様な交流が活発に展開されました。新世紀を目前にひかえ、今年の交流を振り返りながら、体験した皆さんのご意見・ご提言を紹介します。



東北地方各地から関係者が集まった「産直サミット」。町の施設の充実に驚きの声があがりました



八戸市からは歴史訪問

●東北地方から
8／30〜31　第4回東北地方・産地直売所サミット

●北海道函館市から
5／18　修学旅行生来町

●青森県八戸市から
7／27　歴史訪問

●宮城県仙台市にて
10／9〜11
紫波町ふるさと物産展
（藤崎デパート）

●宮城県仙台市から
11／16
りんご狩りと産直の旅

●茨城県から
6／2〜4
『環境新世紀　環境イベント』

●千葉県から
6／2〜4
『環境新世紀　環境イベント』

●首都圏から
8／14〜15　ふるさと会
ゴルフコンペとふるさと巡りバスツアー

●東京都にて
4／10〜12　紫波一中修学旅行

●東京都にて
11／4　紫波町出身者の集い

●東京都練馬区光が丘から
9／21〜23
ヤッホーいわてツアー

●東京都練馬区光が丘にて
10／7〜8　第2回
ヤッホーいわてフェア

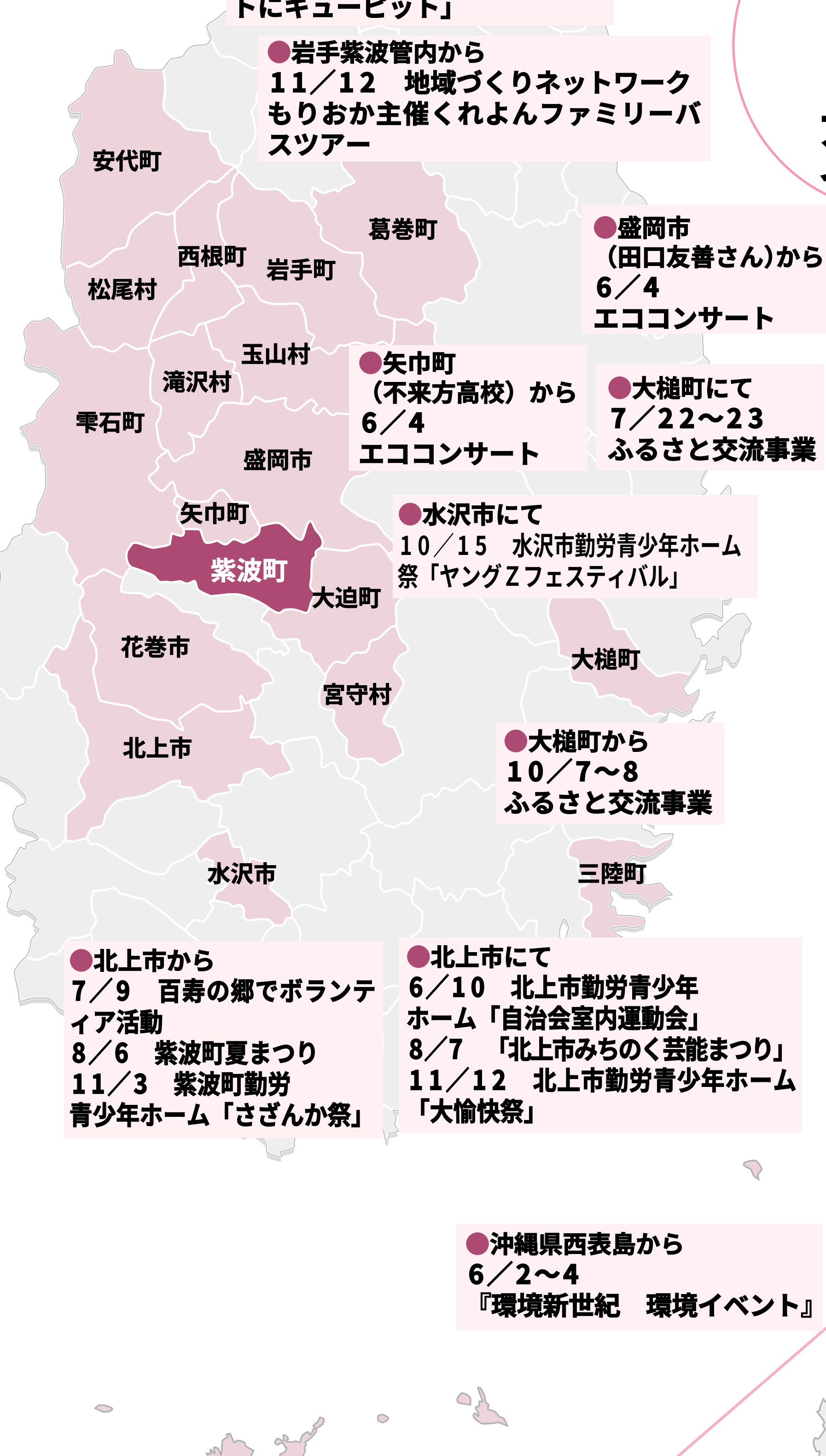
●東京都大田区から
6／2〜4
『環境新世紀　環境イベント』

●アメリカ合衆国ミシガン州ポーテジ市にて
10／28〜11／10　国際交流事業

●アメリカ合衆国ミシガン州ポーテジ市から
6／10〜22 国際交流事業

体験者が語る 私たちの『交流』

県内の交流



●花巻市にて
10／22　ホーム祭「ポラーノフェスティバル2000」
11／5　交流イベント「ハートにキューピット」

●岩手紫波管内から
11／12　地域づくりネットワークもりおか主催くれよんファミリーバスツアー

●盛岡市（田口友善さん）から
6／4
エココンサート

●矢巾町（不来方高校）から
6／4
エココンサート

●大槌町にて
7／22～23
ふるさと交流事業

●水沢市にて
10／15　水沢市勤労青少年ホーム祭「ヤングZフェスティバル」

●大槌町から
10／7～8
ふるさと交流事業

●北上市から
7／9　百寿の郷でボランティア活動
8／6　紫波町夏まつり
11／3　紫波町勤労青少年ホーム「さざんか祭」

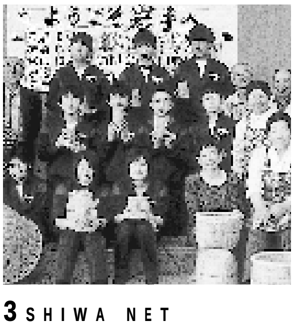
●北上市にて
6／10　北上市勤労青少年ホーム「自治会室内運動会」
8／7　「北上市みちのく芸能まつり」
11／12　北上市勤労青少年ホーム「大愉快祭」

●沖縄県西表島から
6／2～4
『環境新世紀　環境イベント』

町と大槌町とのふるさと交流事業は16年目を迎えました

盛岡管内で行われた「クレヨンツアー」。親子での交流は貴重な体験です

～交流報告～
めざせ！交流人口200万人
今月のToPics トピックス


北海道函館市から市立亀田中学三年生二百三十人が修学旅行で来町

今年も活発な活動が行われた「紫波ふるさと会」。修学旅行生もお世話になりました

県内を中心にめざましい活動を行ったのが勤労青少年ホームの皆さん

【ふるさと会との交流】

田舎に帰りたく なると夢をみる

杉村信子さん
埼玉県川越市
旧姓鎌田、
日詰出身

ふるさとを離れて三十五年くらいになりますね。私はこのふるさと会に第一回目から参加しています。紫波町からこうしてたくさんの人が来てくれ、ふるさとに帰ったようで、とてもうれしいですね。第七回目くらいから役員をしていますが、事前の打ち合わせにも欠かさず出席しています。

特に紫波町出身の年輩の人たちと話すと心の安らぎを感じます。それはところどころに現れる言葉、方言の懐かしさからくるものじゃないかと思うんです。ふるさと会で、だれかの話が聞こえるとつい耳をそばだてています。私にとって方言は宝ものですね。昔おばあちゃんが話した「まんつまんつ、なぁんにもねんども」という言葉を、声に出して話してみたりします。

私は青少年補導員もしていますので、不登校などいろいろな問題を抱える子どもたちを知っています。去年から紫波町の中学生が修学旅行で、ふるさと会会員の会社を訪問をしたり、ふるさ

鍛冶町さんさ踊りも披露されました

子ども、そして孫へ伝える町の良さ

伊藤正二さん（古館出身）
ふるさとは言葉で表現できない、いいもの。ふるさと会の集まりには信号待ちの時間さえも惜しいと感じる。これで3分損したなんて本気で思っていますよ

佐々木力男さん（星山出身）
とにかくなつかしいね。35年ぶりに会った人もいます。もっと若い人にも参加促進したほうがいいね

食べごろのリンゴをとってもらうツアー客

「仙台リビング」は仙台市とその周辺に週一回発行している生活情報誌です。中心となる読者は四十代の主婦層ですが、大都市の企業からの転勤族も多い土地柄のため、情報にうえている人が多数いらっしゃいますね。

私たちも活字以外で読者の皆さんとのふれあいの場をつくろうと、バスツアーをするようになったのですが、とても好評なんです。これは普通の旅行と異なり、日帰りの町めぐりツアーで、各市町村の職員が案内し「町を知る・人と出会う」ことを目的にしています。ですから地元の人にとっては当たり前の光景こそが、実はこのツアーの目玉なんです。

今年の交流事業【その1】（12月現在）

【東京都】 4／11に紫波一中修学旅行でふるさと会の斡旋による会社訪問。9／21〜23に「ヤッホーいわてツアー」として東京周辺から38人参加。10／7〜8には「第2回ヤッホーいわてフェア」として第17回光が丘地区祭（練馬区光が丘）に参加。また11／4には紫波町出身の首都圏在住者による集いを墨田区ロッテプラザで230人が参加し開催

【北海道函館市】 5／18に市立亀田中学校3年生230人が修学旅行で訪問。町内の地区公民館で竹細工などの体験学習。地区住民との交流も行われた

【環境新世紀】 6／2〜4開催。環境シンポジウムに東京都大田区NPO法人「環境学習研究会」の小野紀之さん、沖縄県西表島「西表をほりおこす会」の石垣金星さん、茨城県の「霞ヶ浦・北浦をよくする市民連絡会議」の飯島博さん参加。エココンサートに矢巾町の不来方高校合唱部の皆さん、盛岡市の田口友善さんによる環境新世紀テーマソング「ぼくらの里」。環境探検隊には千葉県から小学生10人参加

修学旅行生の先輩方の会社訪問

〜交流報告〜
めざせ! 交流人口200万人
今月のTopics トピックス

と会と交流会も行なわれていますが、とても素直でかわいい。生き生きと伸びやかで、人の話をしっかり聞ける子どもたちに会えて、頼もしく感じます。とても良い企画だと思います。

「田舎に帰りたくなると、夢をみる」とよく主人にいわれます。ふるさとの山や川、木、土、水、すべてが懐かしい。私の住む埼玉もまだまだ自然は身近にありますが、やはりふるさとの自然は違います。毎月町の広報も読んでいますが、紫波町が環境に力を入れているのもうれしいですね。

久しぶりの対面に笑顔、笑顔でした

紫波町ふるさと会

「紫波町ふるさと会」は、関東周辺に住む紫波町出身者を中心に、昭和62年9月の設立、「会員相互の親睦を図り、活発な情報交換を行うこと、ふるさと紫波町の発展に寄与することを目的に活動を行う」という会則の下、会長の渡辺恭三さん（東京都新宿区、日詰出身）を中心に活発な活動を行っています。ふるさと会員数も発足当時には481人、以後増え続け、平成12年現在705人になっています。

ふるさと会の主な事業

・昭和63年8月にふるさと紫波町で「ゴルフコンペ」と「ふるさと巡りバスツアー」を実施。現在まで13回実施。

・毎年秋には東京で「紫波町ふるさと会総会、紫波町出身者の集い」開催。毎年200人を超える会員と家族が出席し盛況。

・「会報ふるさと紫波」は昭和63年9月発行以来、毎年2回程度発行し現在第25号。

その他事業

・紫波町福祉基金への取り組み（老人福祉の充実を願い創設。紫波町社会福祉事業基金に募金協力）

・町づくり懇談会の企画

・野村胡堂・あらえびす記念館整備に協力（記念館運営資金に対する募金活動など）

・新駅設置募金運動に協力

・紫波町と首都圏のふるさと産品を通した交流（ふるさと会10周年記念）●平成8年10月東京都足立区西新井フリーマーケットに参加。平成9年も実施●平成11年10月東京都練馬区光が丘「ヤッホーいわてフェア」●平成12年「ヤッホーいわてツアー」「ヤッホーいわてフェア」を実施

りんご狩りと産直の旅

11／16開催。仙台市の情報新聞「仙台リビング」が主催し、仙台市周辺から45人が参加。野村胡堂・あらえびす記念館の見学、長岡りんご果樹園でリンゴのもぎとり体験、産直「道の駅紫波」「産直センター ルート396長岡」、ラ・フランス温泉館を訪問

「このリンゴは何?」と聞きながら産直で買い物

「おいしい!」「ホント!」声も弾む試食タイム

【りんご狩りと産直の旅】仙台市民との交流

魅力たっぷりの産直 ソフト部分の強化を

鈴木平一さん　仙台市
仙台リビング新聞社　営業企画部次長

「仙台リビング」でも、九月の中旬から三回紫波町の紹介をし、十月には藤崎デパートで行った紫波町物産展を掲載しました。そうした後、このツアーの参加者を募集したところ定員を超える申込みがあり、大型バスいっぱいの四十五人が参加しました。

紫波町は仙台から一七〇キロ、二時間かかりません。また産直センターはとても良く整備されていて、他の市町村に一歩先んじていると感じます。しかし器の整備はどこでもできます。これからはソフトの整備が大切だと感じます。

ソフトもさまざまあると思いますが、やはり人ですね。物を売るだけでなく、接客をどのように商品化するかが課題になっていくでしょうし、「楽しい・おもしろい人」がいるだけで、町の魅力は高まるでしょう。物とソフトをいかに後につなぐか、町の情報をどのようにつなぐかが大切になっていくと思います。

【ヤッホーいわてツアー】

柔らかさとやさしさが印象的な旅でした

成田瑞穂さん
東京都練馬区
光が丘

申込みは母がしました。まさか当たるとは思っていませんでしたが、選ばれた時はとてもうれしくて、どうせならと母と母の友人、そして私の友人と四人で参加しました。私をはじめ、みんなわくわくしながら参加しました。

岩手に来たのは初めてです。母が秋田出身なので、高速バスで通過することはありますし、同じ東北ということで親近感はもっていましたが、秋田とは違った風土があると感じました。食べ物もおいしく、自然もすばらしかった。岩手山が大きく見えてとても感動的でしたし、山道を通過し三陸町ではリアス式海岸の雄大な景色と潮の香、自然を満喫した三日間でした。

一日目に宿泊した湯楽々では、もちつき隊の歌や踊りでにぎやかな歓迎を受け、いろいろなお風呂も楽しみました。朝の散歩も良かったですね。たまたま以前にアルバイトした時に知り合った子どもも参加していて、一緒に出かけました。草花を摘んだり、トノサ

あらえびす・野村胡堂記念館の芝生の美しさも好評でした

初めてのブドウ狩りに夢中で摘む子どもたち

大都市・仙台市でも紫波町の農産物は大人気

県外での物産展への参加は昨年からですが、今年は十月に二回ありました。昨年の経験から、カボチャや白菜、米などの重量のある物はあまり好まれないだろうと、枝豆やトマトなどを多くしました。

一回目が七日から二日間、東京で「ヤッホーいわてフェア」、二回目が九日から三日間、仙台市で「紫波町ふるさと物産展」。続けてでしたので少したいへんでしたね。特に東京では隣で行われていたダイエーの優勝セールの影響で、人出も多く、一日目の午前中二時間くらいで完売といううれしい悲鳴を上げました。急きょ組合員に追加便の連絡をして翌日の販売に、何とか間

国際交流事業

いよいよポーテジ市に出発

平成元年から始まった姉妹都市・ポーテジ市との交流事業、平成2年の第1回町内中学生をポーテジ市に派遣し、翌3年からはポーテジ市の中学生を受け入れ、これまで相互交流により理解を深めてきました。

また町民主体の国際交流を目指し、11月22日中央公民館で紫波町国際交流協会（鷹觜忠一会長）の設立総会が行われました。会員は高校生から大人まで81人にのぼり、「相互交流」「国際理解」「町づくり」「広報」の4つの部会に分かれ活動することを決定しました。12月5日には第1回理事会が行われ、具体的な活動について議論しました。

～交流報告～
めざせ! 交流人口200万人
今月のToPics
トピックス

マバッタやスイッチョも間近で見て喜んでいました。旅行後に開催された光が丘地区祭には私は伺えなかったんですが、行ってきた母がツアーの写真も展示してあったと喜んでいました。
　岩手の人はやわらかい。話し方とか雰囲気がやさしいと感じました。旅の間の数々の親切に感謝しています。

今年の交流事業【その2】（12月現在）

【アメリカ合衆国ミシガン州ポーテジ市】国際交流事業として平成元年から開始。6／10〜22にポーテジ市の中学生12人来町、また10／28〜11／10には町の中学生12人ポーテジ市へ

【大槌町】今年で16回目となる「ふるさと交流事業」。7／22〜23に紫波町上平沢小、片寄小5年生が大槌町で漁村の生活を体験。また10／7〜8には大槌町吉里吉里小から紫波町で農村の生活、稲刈りを体験

【八戸市】7／27に八戸藩志和代官所跡地を八戸市の小学生42人と引率7人が訪問。上平沢小、片寄小の児童が迎え交流

【ふるさと会会員】8／14〜15に「ふるさと会ゴルフコンペ」を新山ゴルフ場で開催。同時に「ふるさと巡りバスツアー」として高橋酒造店、産直もっす、熊谷牧場などをめぐる。

【仙台市】10／9〜11に「紫波町ふるさと物産展」として藤崎デパートで開催。11／16には「りんご狩りと産直の旅」として仙台市周辺から45人が参加

【東北地方】8／30〜31に第4回東北地方・産地直売所サミットに各地から約700人が参加

【北上市】11／3、紫波町勤労青少年ホームの「さざんか祭」に北上市勤労青少年ホームから参加。11／12には北上市勤労青少年ホーム「大愉快祭」に紫波町勤労青少年ホームから参加

【岩手紫波管内】11／12に地域づくりネットワークもりおか主催の「くれよんファミリーバスツアー」開催。1市10町村が参加

ヤッホーいわてツアー

9／21〜23に開催した紫波ふるさと会と町の合同事業。昨年秋に東京都練馬区光が丘で行われた「ヤッホーいわてフェア」の会場で行ったアンケートで希望者を募集。東京周辺から38人が参加した。首都圏と岩手の交流促進、紫波町をはじめ、連携する町村で観光や農業体験を行うことで広域的な地域社会の振興を目的とする。主なコースは紫波町（ぶどう狩り）、大迫町（ワイン工場）、宮守村（宮守ブロイハウス）、三陸町（海鮮バーベキュー）

ブドウ片手にポーズ

第2回ヤッホーいわてフェア

10／7〜8に東京都練馬区光が丘で開催。産直センターグリーンハウス（古館）、志和握里センター「もっす」（志和）などの組合員を中心に参加

紫波町ふるさと物産展

10／9〜11に仙台市藤崎デパートで開催。もちモチ王国紫波ひめ隊や町内7つの産直など3日間で約80人のスタッフが参加

東京での産直は初体験の人も多数

突然始まったもちつきに大勢の人が見入っていました

【ヤッホーいわてフェア】
【紫波ふるさと物産展】

刺激——そして自信 物産展は大盛況

熊谷重孝（じゅうこう）さん
片寄・志和握里（あぐり）センターもっす組合長

に合わせました。それ以上にうれしかったのは「本当のトマトの味に久しぶりに会った」「これと同じ物どこに行けばあるの」「昨日も来たけど、おいしかったからまた来た」など味や鮮度を評価してもらったことですね。またふるさと会の人たちも積極的にお客様に声をかけてくれ、とても助かりました。
　仙台の物産展には、日帰りで組合員の奥さんなど交代で参加し、店頭販売をしました。志和の直売所でもお客さまと直接話をする機会はあるのですが、県外の消費者の声に接したのは刺激になったと思うし、自信にもつながったと思います。
　これら二回の物産展は町が企画したものですが、今後は待っているだけでなく、産直共同で自主的にPRしていくことも大切だと感じました。こうすれば町のプラスイメージにもつながると感じます。

僕たち私たちの意見!

子どもたちへのアンケート

今回のテーマ

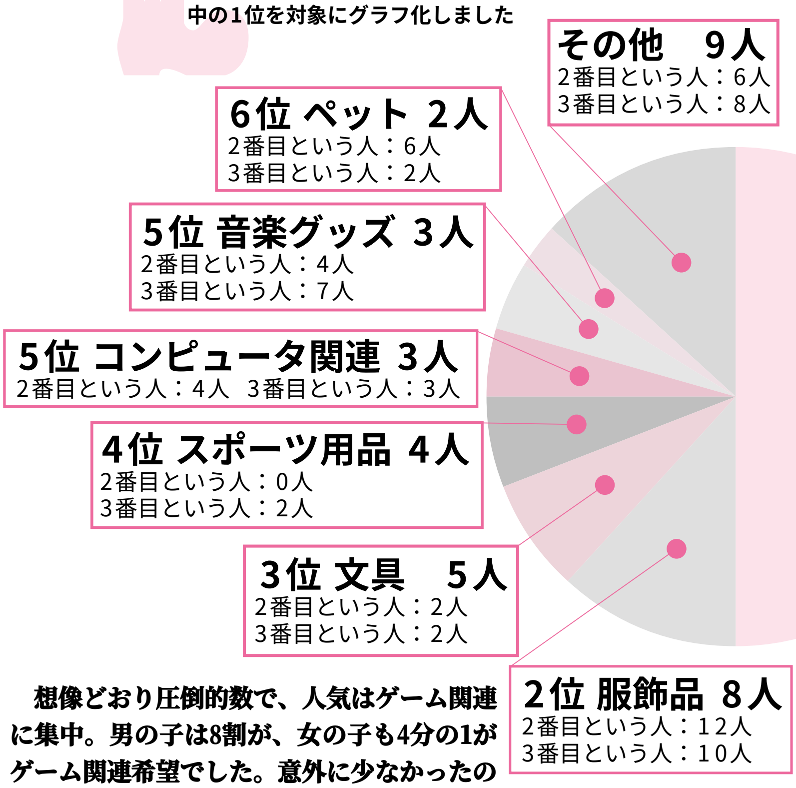
あなたがほしい! あげたい! プレゼントは?

さあ、子どもたちにとって楽しい楽しいクリスマスが近づいてきました。そこで今回は「クリスマスプレゼント」がテーマ。子どもたちがほしいもの、子どもたちがあげたいものは実にさまざまでした。

赤石小学校6年生(男子33人・女子35人)に聞いたアンケート結果

※クリスマスにほしいプレゼントを1位から3位まで記入してもらい、その中の1位を対象にグラフ化しました

Q1.あなたが一番ほしいプレゼントは?



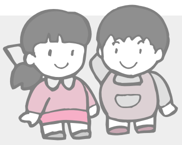
想像どおり圧倒的数で、人気はゲーム関連に集中。男の子は8割が、女の子も4分の1がゲーム関連希望でした。意外に少なかったのが話題の「IT」関連。コンピュータ、携帯電話が少し見られた程度。

ユニークな回答では「お姉ちゃん」、「車」、「別荘・家」、「タケコプター」、「肉(黒豚)」など。

中にはしっかりと「お金」と書いて、希望の金額まで記入している子どももいました。

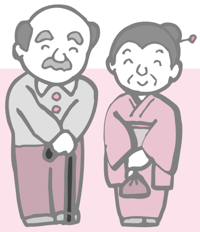
Q2.プレゼントをあげるとしたら、だれに何を贈りたい？

今度の質問は、「あなたがプレゼントを贈るとしたらだれに何を贈りますか」というもの。かわいいものあり、ドキッとするものあり、ホロリときそうなものあり。子どもたちの観察眼の鋭さが伺えます。



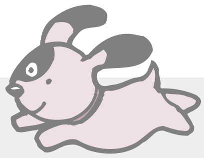
きょうだいにプレゼント!

ＣＤ（好きな歌手がいるから）
おもちゃ（ほしいと言っていたし、自分で買える物だから）
現金（姉は、チョー貧乏だから）
びっくり箱（びっくりさせたいから）
ブレス・オブ・ファイヤー・４（ほしがっていたから）
耳栓（ボクの部屋がうるさいと言うから）



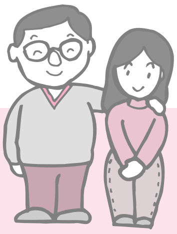
おじいちゃん・おばあちゃんにプレゼント!

車（持ってはいるが、すぐ壊すから。）
服（お金がなくて、買えないって言ったから）
セーター（いつもお世話になってるから）
マッサージ機（肩こりとかしてそうだから。体を大切にしてもらいたいから）
手袋（おばあちゃんがほしいと言っていたから）
服（いつも働いてくれるから）



ペットにプレゼント!

ネコ用のベット（ネコのねどこがないから）
新しい家（毛があるけど冬は寒いと思うから）（今の家では、冬の間寒そうだから）
ひまわりのたね（ハムスターが好きだから）
新しい首輪（古くなったから）
手袋（寒そうだから）
遊び道具（だんだん太ってきているから）



お母さん・お父さんにプレゼント!

服（いつも安い物とか、おさがりとか着ているから）（これから寒くなってくるから。ご飯を作ってくれたから）（いつも世話してくれるし、今年の誕生日に何も買ってあげられなかったから）（寒くなってきたので温かい服をあげたい）
花（お世話になっているから）（ほしいと言っていた）
手編みのマフラー（誕生日にあげようと思ったけどまだ完成してないからクリスマスに）
お金（お父さんのおこづかいが少ないから）
マッサージの機械（腰が痛いといっていたから）
トトログッツ（トトロ好きだから。でも、あるのかな？）
高級化粧品（化粧にこだわっているから）
休み（いつも働いているから）
釣り具セット（釣りが好きだから）
パソコン（新しいパソコンをあげたい）
ライター（たばこを吸うから）
ワイン（お父さんに喜んでもらったから）
旅行（疲れてるので、その疲れをとってしまいたいから）
二人みずいらず旅行（いつもくっついているから、たまには二人で行かせたい）
スパイク（サッカーをやっているから）
サッカーボール（そのボールでサッカーの特訓をして）
エプロン（いつも料理を作ってくれてるから）

先生はどう思う？

【アンケート結果から】

赤石小学校
一方井ヨシ　校長

一番人気は、やはりゲームやゲームソフトでしたね。ふだん欲しくても高値でなかなか買えないので、クリスマスのおねだりにと我慢していたのでしょう。男子ではスポーツ用品も多いようですが、中学の部活に備えているのかな。女子は洋服、文具など身近な物が多く、子供たちはかなり期待感を持って頭に描いていると思いました。

誰にプレゼントをしたいかでは、圧倒的に両親、そして兄弟、祖父母があげられており、うれしくなりました。子供たちはよく見ていますね。「いつも安い物を着ているので服を」「いつも働いているから休みを」「肩こりなのでマッサージ機を」など子供のやさしさに心が温まります。

農業委員会だより

移動農業委員会を開催

農業委員会の役割について理解を深め、農業の持つ問題や課題などを懇談する移動農業委員会を、11月19日町内3会場で開催しました。

問合せ　☎672-2111
内線341～343　有線01-8832

真剣・活発に懇談
各地で移動農業委員会

移動農業委員会で出された意見や質問のうち、主なものをご紹介します。

○水田の基盤整備と合わせ、担い手や認定農業者育成について、農家の意見を反映させ、農協と行政が一体になり考えてもらいたい。

○「農業委員会だより」の発行がなくなったが、農業情報をもっと提供してほしい。

○集落や地域の生産組織など協業体の育成が必要。農協、役場、農業委員会、普及センターなど関係機関が一体となって、窓口を一つにした指導をしてほしい。

○餅米の品質保障のため、共済の検討が必要でないか。

○認定農業者だけでなく、一般の農業者にも支援策を講じてほしい。

○農業委員選挙人名簿の登載申請は毎年一月に行っているが、選挙のない年も必要か。また正月中に集めるというのも、どうにかならないか。

○餅米の産地であるが、付加価値をつけ「餅」の販売を促進したら良いのではないか。

○農業振興地域の見直しの時期と優良農地が簡単に宅地になるなど、農地を守り食糧の自給率を上げるという話とは食い違うのでないか。また農業振興地域に山林や原野が入っているのは理解できない。宅地開発をするとき、優良農地でない丘陵地など丘的な土地を当てることはできないものか。

○企業法人の農業参入の話があるが、第三セクター方式による担い手育成は考えられないか。

○後継者不足が深刻。指導・育成はどのようになっているか。

また各会場共通の意見として、米価の下落など農業情勢が急激に変化する中、小作料見直しが三年ごとでは、対応が遅いのではないかという意見が出されました。小作料が高くては農地の流動化が図られず、遊休化にもつながりかねません。小作料は貸し手と借り手の利害もあり、慎重に対応しなければならないところでもあります。また農業後継者や担い手の確保も切実な問題で、認定農業者の支援と合わせて積極的な対応策が必要です。課題は山積みですが、農家のための農業委員会として、さらに充実した施策を展開して参ります。

農業情勢にふれて

農業委員会会長
平舘良孝

米価をはじめ農産物の価格は市場原理で動くといわれますが、先行き不透明な農業情勢の下、農家としては何といっても所得向上につながらないことには夢も希望も持てないのが現実であります。農業に明るい兆しがない現状では、結果的に農地の遊休化をもたらし、後継者難の傾向に歯止めがかからない状況でもあります。

農業委員会では議論の末、岩手県農業会議でそれらをまとめ、検討協議を重ね、さらに上部機関の全国農業会議所が重要課題の解決を図るため、政府並びに関係機関に対し強力に要請活動を実施し、一定の成果を上げています。

身近な問題は農業委員会で議論して、建議、要望活動を通じ実現を図ることが重要です。大きい課題は全国レベルの組織で検討、県レベルの問題は県農業会議で検討し、常に系統組織と農業各団体との連携した運動が必要だと考えます。

農業者年金制度改革の概要

制度改革の基本方針			●農業者の信頼を得ることを基本に対応 ●新たな食料・農業・農村基本法の理念や政策の展開方向に即した根本的改革 ●農業者、国民一般にも理解と納得が得られるもの
新制度	目　的		●担い手の確保・育成、農業経営資源の継承という農業の持続的発展に寄与するもの
	財政方式		●積立方式（物価スライド・所得スライドはなし）
	保 険 料		●基本保険料2万円（口数制を導入）
	政策支援	対象者（保険料助成適用者）	●20年以上の加入が見込まれる人などで❶認定農業者で青色申告者（青色特別控除後の農業所得が900万円以下の人）／❷前記の人と家族経営協定を締結して経営に参画している配偶者・後継者／❸これらに準ずる人として農林水産大臣が定める人／❹35歳未満で❶の予定者／❺現行加入者（3年の経過措置）
		助成水準	●基本保険料の3割（6千円）。35歳未満で上記❶❷の人は5割（1万円）、❸❺の人は2割（4千円）
		助成期間	●35歳以上の人は10年間を上限とする ●35歳未満の人は最大20年間
	経営継承および支給停止要件など		●一定の要件で農作業受委託を経営継承要件に加える ●受給要件、支給停止要件は大幅に緩和 ●死亡一時金は納付済み保険料総額
現行制度への措置	加入者・待機者への措置		●新制度発足時55歳の未満の人はいかなる世代でも「掛け損」が生じないようにする。若齢者ほど年金受給開始が後年になることを踏まえた水準に ●55歳以上の人は現行給付体系を基本に適切な経過措置 ●45歳以上55歳未満の人で現行制度の加算付き経営移譲の要件を満たす経営移譲をする人は、給付加算による適切な経営措置 ●特例配偶者は保険料納付済み期間の3分の1を年金算定期間に加算
	受給者への措置		●受給者の負担（年金額削減）は平均9.8% ●老齢年金のみの人は削減しない ●経営移譲年金は世代間の負担と給付のバランスに配慮し、若干の傾斜を付けて調整
	特例脱退一時金		●20年要件を満たすあるいは満たし得る加入者に対し納付済み保険料の80%程度

抜本的に改革
農業者年金制度

農業者年金制度は、老後の生活の安定、農業経営の若返りや規模拡大の促進など旧農業基金法の政策目的を達成するため、一九七一年に創設されました。

しかし農業就業者の高齢化、若い担い手不足など農業構造の変化から①経営移譲ができない②加入者の減少により加入者一人で受給者二、五人を支えている③保険料が高くなり負担が重いなど、農政上、財政上の大問題に直面しています。

このため制度を抜本的に改革し、食料・農業・農村基本法に則した魅力ある政策年金として再構築することになりました。

この制度改正は平成十三年四月一日の実施に向け、年金基本法の改正に伴う事務手続きなど、具体的な内容を、農林水産省・農業者年金基金で調整中です。

岩手県農業委員大会で最優秀賞を受賞

農業委員会会長代理　坂本好司

第四十五回岩手県農業委員大会が、十一月二日盛岡市民文化ホールで約千人が出席して開かれました。当町からも十二人が参加。前段に行われた表彰式で紫波町農業委員会は全国農業新聞普及推進の部で最優秀賞を受賞しました。これは農家の皆さんが新聞によって情報を入手し、農業経営に役立てようという意欲の現れであり、感謝申し上げます。

農業委員大会では、農業・農村を次世紀の国づくりの基本とするとともに、農業者が明るい展望を持って農業に取り組めるよう、国や県に対して食料・農業・農村基本計画の実現、地域農業・農村振興対策の充実などを要望事項として決議しました。

また農業委員自らが「いわて地域農業再生運動」に積極的に取り組むことを申し合わせ、大会の幕を閉じました。

農業委員会ニュース

二年三作に地域も期待
丹後麦生産組合

今年は豊作で、反面、転作の強化など、新たな気構えをもって農業に取り組まなければならない状況になっています。そんな中、限られた土地を有効に活用し、地域全体で所得向上に力を注いでいる生産組合があります。丹後麦生産組合は地域で話し合い、ローテーションを組み、米、小麦、ソバと二年で三種類の作物を収穫しています。無農薬、低農薬で手軽に栽培できる小麦やソバを利用して、有志の奥様方がソバ作り講習を地域で行い、喜んで食べてもらっています。このような取り組みは地域からも期待され、一般消費者にも食べてもらえるように拡大していくことが、今後ますます必要になってきています。

こうして丹後麦生産組合は、一年二作の小麦とソバで地域は今大きく動き、明日の活力となり、農村の発展に成果を上げ頑張っています。

認定農業者支援策を
町に要望

農業委員会では、認定農業者がさらに意欲を持って農業経営に取り組めるよう、このほど町長に要望書を提出しました。内容は次のとおりです。

❶ 経営規模拡大に伴い、農機具や施設など新たに整備した場合の助成

❷ 農地を一定規模面積以上集積した場合に、奨励金の交付

❸ 新たに遊休農地や耕作放棄地を集積し、土壌改良用として、えこ3ぷらんセンターから肥料を購入した場合、値引き助成

女性団体代表者と懇談
連携と協力を確認

町内には、連合婦人会をはじめ八つの女性団体がそれぞれの目的を持ち活動しています。会員の生活の充実や地域の発展に大きく関わる活動や、農業委員会の業務の紹介など、相互理解と関心を高め、共通の話題で懇談は弾みました。

ボランティア活動や介護支援、少年非行問題、健康の持続のための活動、子育てと男性の関わり方、転作対策を地域での取り組みなど地域の課題を懇談しました。また後継者の配偶者問題は農業ばかりでなく、商業、工業者も同様で、全町的な課題であり、連携を取り合っていかなければならないことを確認しました。

これからもこのような懇談会を開催し、よりよい地域社会の発展のため協力し活動することを確認し、懇談会を終了しました。

農地転用は許可を
締め切りは毎月十日

農地を住宅や倉庫、資材置き場、駐車場などに転用する場合や、農地の名義変更には許可が必要です。申請の締めきりは毎月十日。法律上の制限で転用できない場合もありますので、事前に農業委員会にご相談ください。また転用許可を伴わず農地を現状変更する場合も、すべて届出が必要となりますのでご注意ください。（農振法に規定する農用地区域）

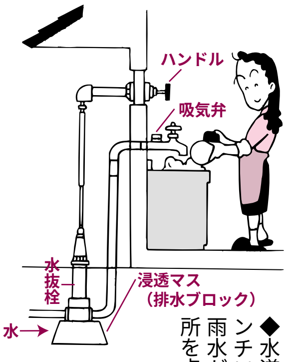
詳しくは農業委員会事務局にお問い合わせ下さい。

耕作放棄地
実態調査で解消を

農業従事者の高齢化や兼業化の進行により、農地の耕作放棄や遊休化が見られます。ほ場整備された優良農地も雑草や雑木が生え茂り、病害虫の温床になり、近隣の耕作者に大変迷惑がかかります。

農業センサスによると、このような耕作放棄地は調査するごとに増える状況にあります。農業委員会では実態調査をし、台帳を作成し、有効利用に向け希望を募るなど、支援を検討。関係者のご理解とご協力をお願いしています。

水道管の凍結にご注意を!!



◆水道管は、地表から六〇センチ以上の深さが必要です。雨水が流れる所や工事した個所を点検しておきましょう。

水道は、気温が氷点下4度以下になると凍結する場合があり、最悪の場合は水道管が破裂することもあります。凍結・破裂防止のため『水抜き』をするよう心がけましょう。

水抜栓（不凍栓）は大丈夫？

水抜栓は、長く使わないでいると、栓が効かなくなっていることがあります。次のテストをしてみましょう。

①蛇口を大きく開ける
②水抜栓（不凍栓）を完全に閉める（この場合、水抜栓が半開きのままですと水が地下に流れ水道メーターにカウントされ、水道料金の対象となりますのでご注意ください。**「水抜栓の開閉は最後まで完全に」**行ってください）
③蛇口に手のひらをあててみて、吸い込まれることを確認する

もし水道管が凍ったら
（家庭でできること）

凍結した場合は次のように対処してください。

蛇口付近などが凍っていると思われるときは、タオルをかぶせてその上から「ぬるま湯」をかけます。熱湯をかけると管が破裂する恐れがあり危険です。（非常時はヘアドライヤーの利用も可）

《注意》ガスバーナーやトーチランプなどは、絶対に使用しないでください。炎や加熱した水道管から火災が発生する恐れがあり、非常に危険です。

このような方法でも水が出ないとき、また水道管が破裂した場合は、町が指定する水道工事店に依頼することになり、有料となります。

問合せ　水道事業所　施設係
☎672-2111　内線424、425　有線01-8951

町指定水道工事事業者　（届出順　平成12年11月末現在）

【町内】

会社名	所在地	電　話
(有)小田島鉄工所	上平沢	☎673-7655
(株)遠山産業	遠山	☎676-4111
橘建設(株)	桜町	☎672-4411
(有)加藤水道工業所	高水寺	☎672-3226
小田中水道工事店	上平沢	☎673-7910
(有)藤水道設備	桜町	☎676-3000
(合)富岡鉄工所	桜町	☎672-2303
佐々木建設(株)	日詰	☎676-3610
(有)アサカ住設	平沢	☎676-4499
(株)小松組	日詰	☎676-3163

【町外】

会社名	所在地	電　話
(株)高設	盛岡市	☎672-1231
(株)中央設備	盛岡市	☎651-8611
(有)新世水機工業	盛岡市	☎661-5200
菱和設備(株)	盛岡市	☎654-2602
(株)岩手管工	盛岡市	☎646-9511
(株)綜合設備産業	盛岡市	☎641-1351
(株)千田組	盛岡市	☎624-1661
富士水工業(株)	盛岡市	☎641-2241
(有)三和水道工業所	盛岡市	☎624-6266
山王水道工事(有)	盛岡市	☎643-6102
花住ホーム(株)	花巻市	☎0198-22-2477
中央水道土木(株)	盛岡市	☎645-3530
(有)伸栄設備	盛岡市	☎645-1320
(有)中野設備工業所	盛岡市	☎622-5673
(有)カネシゲ工業	盛岡市	☎635-8585
(株)滝沢工業	盛岡市	☎659-1122
(株)山崎組	盛岡市	☎652-3088
(株)岩水	盛岡市	☎623-5426
(有)三星住設	盛岡市	☎639-6670
(有)田中水道工業所	盛岡市	☎661-8511
タカヨ建設(株)	矢巾町	☎697-2245
(有)浅沼地下水	盛岡市	☎636-4812
(有)岡田設備	石鳥谷町	☎0198-45-2886
馬渕川設備(株)	二戸市	☎0195-23-7511
(有)新光設備	盛岡市	☎661-0141
カワハラ興業(株)	矢巾町	☎697-3050
(有)北山水道工業所	盛岡市	☎661-1511
(株)田中組	盛岡市	☎624-4509
丸片機水工業(株)	北上市	☎0197-63-7774
水本建設(株)	矢巾町	☎697-3141
(有)昆組	矢巾町	☎697-6058
くみあい鉄建工業(株)	矢巾町	☎697-2845
(有)丸水工業矢巾	矢巾町	☎697-5152
エムテック(株)	滝沢村	☎688-0050
(株)水清建設	矢巾町	☎697-2318
(有)幸和住設	盛岡市	☎623-6356
(有)浜名設備	盛岡市	☎641-0251
盛和工業(株)	盛岡市	☎658-1505
(株)盛福水道工業	盛岡市	☎647-3286
石鳥谷工業(有)	石鳥谷町	☎0198-45-2448
(有)大同水道土木工業所	盛岡市	☎639-0441
旭管工(株)	盛岡市	☎636-0711
(有)盛岡熱動	盛岡市	☎658-1424
盛岡ガス工業(株)	盛岡市	☎638-6144
(有)武蔵組	盛岡市	☎654-9888
中亀建設(株)	盛岡市	☎636-0223
森下産業(株)	石鳥谷町	☎0198-45-4422
(有)東都工業	盛岡市	☎635-5914
(株)山與	盛岡市	☎653-1221
光和工業(株)	花巻市	☎0198-24-5151
(有)吉田設備工業	盛岡市	☎652-4535
(有)サン住設	盛岡市	☎696-2414
(有)岩中システムサービス	北上市	☎0197-67-6263
積和建設盛岡(株)	盛岡市	☎638-1222
(有)こずかた水道設備	盛岡市	☎641-9211
丸加産業(株)	石鳥谷町	☎0198-45-2342
(有)姫神設備工業	盛岡市	☎661-8356
(有)東洋設備企画	盛岡市	☎658-0733
東北アクア工業(株)	盛岡市	☎647-2775
高北設備工業	石鳥谷町	☎0198-45-6034
(株)東北ターボ工業	盛岡市	☎658-1113
(有)杜陵工業	盛岡市	☎634-1011
(有)小田嶋設備工業	石鳥谷町	☎0198-45-5583
小田島豊二	盛岡市	☎638-5834
(有)ヤマモト	石鳥谷町	☎0198-45-4563
(株)理水興業	花巻市	☎0198-23-5395
(有)日本住設	花巻市	☎0198-22-3036
大久保建設(株)	東和町	☎0198-42-4000

町で見つけた
ホットニュース

まちで見つけた出来事を写真とともにご紹介します

愛好家が手がけてきた盆栽や菊花も見事なできばえ

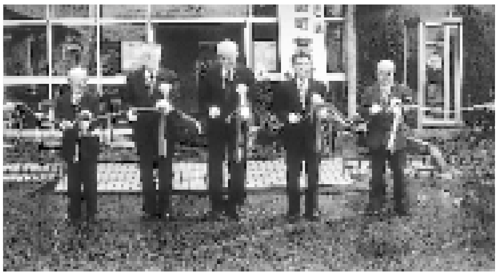
芸術の秋、多彩な催しの数々
中央公民館で芸術祭と音楽祭

町の芸術の秋を代表する行事、第三十四回紫波町芸術祭が十一月三日、中央公民館で開幕しました。

この日から三日間行われた展示部門には日本画や洋画、書道、盆栽など、六百人以上の作品が一斉に展示されました。どの作品も一年間精魂こめて完成させた芸術性の高い作品ばかりで、多くの町民が鑑賞に訪れました。

また十九日には琴や尺八、踊りなど二十二団体の舞台部門の発表、二十五日からは絵画や書道、工作などの小中学生作品展と、芸術の秋の催しが多彩に繰り広げられました。

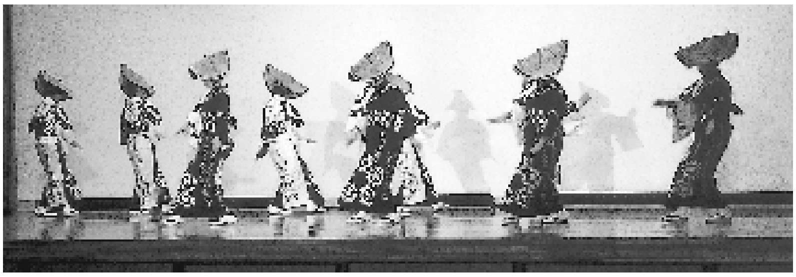
また第十六回となる紫波町音楽祭、合唱・合奏部門は十二日に行われ、小中学校と町内コーラスグループなど二十団体が参加し、日ごろの練習成果を披露しました。



藤原町長をはじめとしたテープカットでスタート

個性豊かな作品は多くの人を楽しませました

澄んだ歌声が響きわたった紫波町音楽祭



見事な踊りなどが披露された舞台部門

自治大臣表彰受賞
藤原恒久消防団長

昭和六十二年から紫波町消防団長として、ご活躍されている藤原恒久さん（南日詰）がこのほど消防功労者として、自治大臣表彰を受賞されました。藤原さんは昭和十八年に赤石村警防団に入団以来五十七年間、町の消防防災活動に努め、地域消防のリーダーとして町の安全確保のため防災活動を率先して行い、その功績が認められたものです。

青少年健全育成活動に貢献 町内から二団体一個人受賞

永年の青少年健全育成活動が認められ、十一月二十二日軽米で開催された第四回「夢県土いわて」を創る青少年大会で、町内の二団体と一個人が岩手県青少年育成議会長表彰を受賞しました。

受賞したのは次の皆さんです。（写真右から 敬称略）ボーイスカウト紫波第一団（多田友夫代表）、中高生社会参加活動佐比内地区育成会（高橋元義会長、代理佐々木栄子）、町スポーツ少年団本部常任委員、四宮茂さん（日詰スポ少野球コーチ）

これで万全・安心 秋季火災防御訓練

秋季火災防御訓練が十一月十八日、北日詰のマックスバリュー紫波店駐車場とその周辺で行われました。スーパーの火災を想定して行われた同訓練には、早朝から消防関係者やスーパー従業員、地域住民など約三百人が参加し、真剣に取り組んでいました。また初期消火や応急手当て訓練も的確に行われました。

自分の体力を再確認 六十人が限界に挑戦

二十歳から七十九歳までの六十人が参加し、十一月十四日総合体育館で、文部省体力・能力テストが行われました。これは毎年全国一斉に行われているもので、参加した人たちは握力や上体起こし、反復横とびなど六種目に真剣な表情で挑戦していました。結果は総合評価や体力年齢などその場ですぐ分かるものもあり、自分の体力を確認する場にもなったようです。

商工会四十周年記念で 高橋克彦さん記念対談

紫波町商工会（大野晴久会長）では創立四十周年になるのを記念し、十一月十九日サン・ビレッジ紫波で盛岡在住の作家高橋克彦さんとIBCアナウンサー村松文代さんの記念対談が行われ、高橋さんは自らの人生観や歴史観、岩手での作家活動について語りました。またその後、盛岡南ショッピングセンター、ナックスホールで記念式典も行われました。

宮崎緑さんの記念講演も 町制施行四十五周年記念

紫波町民憲章推進大会・紫波町公民館大会が十一月十六日、サン・ビレッジ紫波で約六百人が参加し開催されました。町勢功労表彰など各種表彰が行われた式典に引き続き、町制施行四十五周年を記念し、ジャーナリストの宮崎緑さんによる「新しい交流の時代」と題する記念講演も行われました。受賞者は表のとおりです。（敬称略）

また紫波ネット十月号でお知らせした花いっぱいコンクールの表彰も行われました。

町勢功労表彰	鷹木壮光、松坂盛悦、田口元三、谷地良典、高橋保元、畠山善見、小原喜六、北村清、西田キクヱ、松岡勝雄、北田照義、堀内リョウ子、赤沢農産物直売組合、紫波第三中学校
町勢功労感謝状	小松国男、ロイ・C・シュミット、トーマス・M・ジャストラブ
「新しい町づくりに私達の夢を」入賞作文表彰	（カッコ内は学校名と学年）最優秀賞：阿部成浩（星山小6）／優秀賞：上和野由貴（長岡小5）、水原有香（紫波一中1）、小倉啓子（紫波一中1）、藤沼紘実（紫波二中3）、北條人寛（紫波三中3）／優良賞：畠山彩子（日詰小4）、高橋めばえ（日詰小5）、佐々木真紀子（星山小6）、沼田奈津見（紫波一中2）、大坪賢心（紫波二中1）／入選：藤原亜紀子（水分小4）、藤原瞳（紫波一中1）、生内歩（紫波三中2）

もうすぐ雪の季節

除雪にご協力を

　町では本格的な雪の季節を前に、除雪作業の準備を進めています。
　除雪の作業に取りかかるのは夜間になって積雪が15cm以上見込まれるときなどです。積雪量は水分、赤石、赤沢の３地点の観測場所で判断します。
　除雪は町所有の除雪車を中心に、大雪になった場合には建設会社などからも出動し、30台以上で除雪を行います。スムーズな除雪と安全な通行を確保するため、次のことにご協力をお願いします。

◆除雪車の進行を妨害する路上駐車をしない
◆道路に張り出した樹木の枝切りは早めに
◆雪を道路に出すことは危険です
**　敷地内で処理しましょう**
◆除雪機械の特性で、除いた雪が住宅の入口付近に積み重なり、ご不便をおかけする場合があります。少なくなるように努力していますが、除去などにご理解とご協力をお願いします

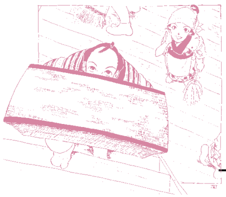
※歩道も除雪していますが、除雪車の台数に限りがありますので、地域で連絡しあい、通学路の確保にご協力をお願いします。

吹きだまりなど通行しにくい個所がある場合、融雪剤が必要な個所がある場合は次にご連絡ください。

◆連絡先　土木課維持係☎672-2111
内線514・515　**有線**01-8911

紫波投稿文芸館　連載小説

鉈（なた）の黒岩



作／遠山英志（紫野出身盛岡市）　挿絵／竹田千穂子（岩手町）

紫波町出身の南部藩のお抱え力士・黒岩。小兵ながら、神技「鉈」で土俵の相手に立ち向かう姿は、江戸庶民の人気の的になっていった。そんな黒岩の取組は、常に注目を集め、ひいき客もつくようになった…。

第八話　ひいき客

　天明四年十一月場所、千秋楽に於ける黒岩の対戦相手は小野川であった。小野川は、黒岩の鉈に鳥肌が立つ思いであった。しかし、小兵の黒岩に対して注文相撲を取れば評価を下げる。小野川は珍しく「待った」をする。一瞬早く立って突っ張りに出た。その腕に黒岩の右肘が炸裂した。黒岩の右肘は小野川の腕を弾き、その胸元に当たった。小野川は棒立ちになった。小野川はのけぞって後退することを余儀なくされた。辛うじて土俵際で回り込み、粘り腰でこらえつつ、いなした。つんのめる黒岩につけ込んだ小野川は得意の左差しで一気に寄り立て、左から下手出し投げを打った。黒岩は大きく泳いだが、右差し、左はずで頭をつけ、どっとより返した。ほとんど決まったかに見えたが、小野川は最後の力を振りしぼって右へうっちゃった。この時、小野川の右のかかとは俵の外に出ていたが、誰も物言いをつけなかった。
　勝ち名乗りを受ける小野川より、負けて土俵を引き揚げる黒岩への声援が多かった。勝負はどうあれ、最終的に興行を盛り上げる存在であればいい。黒岩はそう思った。
　回向院での打ち出しの頃、両国橋東詰の日野屋では淡雪豆腐の支度にかかり、葛を練り始める。黒岩対小野川戦を見物した帰りの客が次々と姿を現わし、腰をかけた。
「小野川は窮余の一策で、死中に活を得たようでござったぞ」
「されど、小野川のかかとが出たのを確と見届けてござる」
「それはまことか」
「いかにも。飛ぶ鳥を落とす勢いの吉田追風が行司とあっては誰も物言いをつけぬ道理じゃ」
「しっ、声が高い。おや、いつの間に持ってきた。どれどれ」
　二人が八文の淡雪豆腐を口に入れると、さらりととろけるような味わいが広がった。心地良い舌ざわりに、改めて黒岩の戦いぶりを思い浮かべるのであった。鉈を使う黒岩の爽やかな戦い方が、江戸の庶民の志気を大いに鼓舞したのである。
　天明三年の飢饉は深刻で、天明四年十二月十四日、南部のお抱え相撲は中止となった。そのかわり力士は江戸、京都、大坂に出ることを許された。暇が出されたのである。黒岩には備前屋権兵衛という商人がひいき客としてついていた。彼は空米取り引きで多くの差益を得て、豪商にのし上がっていた。相撲で黒岩が勝つと、彼は羽織を脱いで黒岩にかけた。後で羽織と引きかえに祝儀を与えるのである。
　江戸の豪商は諸国の商人を止宿させる必要があるので、総二階の宿屋造りにしていた。江戸時代も中期からは、畳を敷く座敷もできていた。十二月二十七日、黒岩は備前屋権兵衛の家で煤払いをした。布足袋をはいた黒岩は、土間に積まれていた畳十二枚を一度に二階に上げた。黒岩が餅をつくと、おかみさんが早速あんころ餅にした。煤払いの参加者に祝いとして差し出すと、煤で汚れた指ではつまみもならず、手の甲に載せて貰うのであった。煤払いの最後に、おかみさん命令で黒岩や店の奉公人達が権兵衛を胴上げした。一年間の災厄が体から落ちると共に新しい力がつくというので、彼は嬉しさを体いっぱいに表現した。

NEWS BOARD

お知らせ掲示板

高齢者福祉充実のため新たな施設が完成します

「こもれび」&「シニアプラザ佐比内」

介護保険対象外の自立者対応施設

高齢者生活福祉センター「こもれび」

住所：桜町字三本木46-1（にいやま荘隣）／開所：12月1日／利用定員：15人／施設：個室11室、2人部屋2室、食堂・調理場・洗濯室・浴室・トイレ完備

◆高齢者生活福祉センター「こもれび」とは

介護を受けるまででなくても、独立して生活することに不安を持っている一人暮らしの高齢者、夫婦のみの高齢者世帯、家族の援助が得られない高齢者を対象に一定期間（最長1年)、安心して生活していただくことを目的とした施設です。

◆利用できる人

要介護認定で、「自立」または「要支援」と認定された人。あるいは認定見込みの人で、おおむね60歳以上の人。

◆利用料金

使用料と光熱水費を負担していただきます。

【使用料】入所希望者個人の収入に応じて異なります。（最高3万円）

【光熱水費】1カ月あたり6000円（冬期間は9000円）の負担になります

◆食事

自炊、または給食も受けられます。

◆申込方法

銭形平次会館の紫波町在宅介護支援センター、にいやま荘在宅介護支援センター、百寿の郷宅介護支援センターへ申し込みください。

生きがい対応型ディサービスセンター

シニアプラザ佐比内

住所：佐比内字舘前1-1（佐比内保育所隣）／開所：12月25日／利用定員：20人（1回あたり）／利用回数：おおむね週1回／施設：交流ホール（畳部分約15畳、フロア42m²)、浴室、トイレ

◆シニアプラザ佐比内とは

「いきいきプラザ赤石」、「紫波総合福祉センター」に続き、3カ所目の生きがい対応型ディサービス施設です。この施設は、家に閉じこらず、他の高齢者や園児とふれあうことで、生きがいをもってもらい、介護認定者にならないよう予防することを目的としてディサービスを行う施設です。子どもたちにも、高齢者とふれあうことで、思いやりの気持ちを育ててほしいとの考えから、佐比内保育所に隣接して建設された施設です。

◆利用できる人

要介護認定で、「自立」と認定された人。あるいは認定見込みの人で、おおむね60歳以上の人。

◆利用料金

1回700円（100円の入浴サービス料を含む）

◆申込方法

銭形平次会館の紫波町在宅介護支援センター、にいやま荘在宅介護支援センター、百寿の郷宅介護支援センターへ申し込みください。

「こもれび」「シニアプラザ佐比内」ほか、介護に関する相談・問合せは下記へ

百寿の郷
在宅介護支援センター
（特別養護老人ホーム百寿の郷に併設）
住所：土館字関沢24-1
Tel 671-7101／Fax 671-7051

にいやま荘
在宅介護支援センター
（特別養護老人ホームにいやま荘に併設）
住所：桜町字三本木46-1
Tel 676-5777／Fax 676-5857
有線04-6225

紫波町
在宅介護支援センター
（銭形平次会館内）
住所：日詰字郡山駅57-3
Tel 671-1101／Fax 671-1102
有線01-8972

21世紀の健康づくりは食生活
町民健康講座プログラム

町では「21世紀の健康づくりは食生活」をテーマに『町民健康講座』を開催します。受講無料、参加自由ですのでお気軽にご参加ください。

■場所　保健センター
■問合せ　長寿健康課保健係（保健センター内）☎672-4522　有線01-8991

回	開催日	時　間	講演内容	講師
1回	1月13日（土）	午後1:15～1:25	開講式	
		午後1:30～2:00	21世紀の保健と環境	藤原孝町長
		午後2:00～3:30	食からの健康発見 ～食習慣をチェック～	岩手大学保健管理センター 所長　立身政信さん
2回	1月20日（土）	午後1:15～1:45	いきいき健康体操 ～心と体のリラックス～	岩手レクリエーション協会 指導員　小島勝子さん
		午後1:50～3:30	紫波町の風土へ食でアプローチ ～わが町から食の発信～	総合コンサルトオフィス 代表　久米直樹さん
3回	1月27日（土）	午後1:30～3:10	食の美学 ～かたち・器の語る美味～	盛岡大学短期大学部幼児教育科 教授　松里雪子さん
		午後3:15～3:30	閉講式	

戸籍事務が電算化されます

担当：町民課窓口係
☎672-2111 内線143･144

電算処理による戸籍事務を平成13年1月22日（月）から開始します

町では、住民サービスの向上を目的に、戸籍事務の電算化に取り組んできました。実際に皆さんに証明書を発行できるのは平成13年1月22日（月）からになります。町では常に皆さんに、正確で迅速な窓口事務のサービスを提供できるよう努力しています。今後とも一層のご理解とご協力をお願いします。

戸籍の証明が横書きになります

今回の戸籍事務の電算化にともない、発行される証明書は、今までの謄本、抄本から「全部事項証明」、「個人事項証明」となり、横書きの書式になります。（参考例）

証明される内容は変わりありませんが、より見やすくなっています。

【4回にわたったこのコーナーはこれで終了します】

（参考例）　　個人事項証明

本　籍 氏　名	岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23番地1 紫　波　太　郎
戸籍事項 戸籍編成 転　　籍	【編成日】平成4年1月10日 【転籍日】平成5年3月6日 【従前の記録】 【本籍】岩手県紫波郡紫波町日詰字下丸森71番地
戸籍に記載されている者	【名】太郎 【生年月日】昭和40年6月21日 【父】紫　波　一　郎 【母】紫　波　花　子 【続柄】長男
身分事項 出　　生	【出生日】昭和40年6月21日 【出生地】岩手県紫波郡紫波町 【届出日】昭和40年6月25日 【届出人】父
婚　　姻	【婚姻日】平成4年1月10日 【配偶者氏名】岩　手　梅　子 【従前戸籍】 岩手県紫波郡紫波町日詰字下丸森71番地 紫　波　一　郎

※「町の文芸コーナー」はお知らせ版に掲載しています。作品は**毎月前月末**までにはがきで企画課広報係までお寄せください。

お知らせ掲示板

INFORMATION 製造事業所の統計調査にご協力ください

12月31日現在で、次の統計調査が同時に行われます。12月から来年1月にかけて調査員がお伺いします。

なお調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、数字などの正確なご記入をお願いします。

▶平成12年工業統計調査　製造事業所の実態を調査

▶平成12年石油等消費構造統計調査　従業者30人以上の製造事業所での石油などの消費実態を調査

INFORMATION 住宅に困っている人へ 町営住宅の入居希望者募集

町では次のとおり町営住宅入居者を募集します。

▶住宅名　❶朝日ヶ丘北住宅3号棟・3戸（5階建て、平成12年築1LDKタイプ）　❷第2希望ヶ丘住宅・1戸（2階建て、昭和49年築3Kタイプくみ取り・風呂釜なし）

▶所在地　❶二日町字南七久保3番地1　❷日詰字七久保69番地

▶家賃　❶16,800～27,900円（収入に応じて4段階。12年度以降は毎年度収入に応じて変動。家賃のほかに共益費の支払いがあります）　❷9,800～16,300円（収入に応じて4段階。12年度以降は毎年度収入に応じて変動）

▶敷金　入居時家賃の3ヵ月分

▶申込資格（すべて該当すること）

●町内に在住または勤務をしている

●所得金額から同居者などの控除額を引き12カ月で割った額が200,000円以下（障害者のいる世帯は268,000円以下）

●住宅に困窮していることが明らかである

▶入居決定方法　住宅困窮度が高い人（世帯）から決定

▶入居可能予定日　平成13年1月以降

▶申込　12月25日までに都市計画課（分庁舎）備え付けの申込用紙に関係書類を添えて同課に提出

▶問合せ　都市計画課建築住宅係☎672-2111　内線526　有線01-8831

お知らせ

1月開催予定だった町民教養講座は、講師（東和町役場役重真喜子さん）の都合により中止いたします。

INFORMATION 町の公有財産である消防車を公売します

町では次の公有財産を公売・公告します。方法や代金の支払いについてはそれぞれご確認ください。

▶公売物件　昭和53年登録日産製消防車（形式：FH60、乗車定員9人、車検：平成13年8月）

▶受付期間　12月25日（月）までの平日午前9:00～午後5:00（正午～午後1:00までを除く）

▶問合せ・申込　総務課管財係☎672-2111　内線240　有線01-3182

INFORMATION 母父子家庭・寡婦を対象にした無料法律相談

盛岡地方振興局では、母子家庭や父子家庭、寡婦の人を対象とした無料法律相談を実施します。（事前に予約が必要です）

▶相談日・場所　1月23日（火）・午前10:00～午後3:00・雫石町総合福祉センター／2月27日（火）・午前10:00～午後3:00・盛岡地区合同庁舎（5階研修室）※受付は午後2:00まで

▶問合せ・申込　盛岡地方振興局保健福祉環境部福祉課☎651-3111　内線6570

冬季紫波町スポーツ教室　日程変更のお知らせ

「紫波ネット12月号お知らせ版」でお知らせしたスポーツ教室の中で次の2講座の日程が変更になります。ご確認の上、お申し込みください。

スキー教室

期日：平成13年1月6日（土）、7日（日）、13日（土）、14日（日）

時間：出発午前8:00～解散午後4:30（バス送迎有り）

場所：網張スキー場　**対象**：小学4年生以上　**定員**：40人

費用：小中学生3,000円、一般4,000円（リフト代は別です）

ウインタースポーツの代表・スキーの基本から応用まで

スノーボード教室

期日：平成13年1月6日（土）、7日（日）、13日（土）、14日（日）

時間：出発午前8:00～解散午後4:30（バス送迎有り）

場所：網張スキー場　**対象**：高校生以上　**定員**：20人

費用：4,000円（リフト代は別です）

用具はご持参ください（レンタル用具あり。ただし有料）

いずれの教室も集合場所は総合体育館です。
問合せ・申込：総合体育館☎676-2650　有線01-3151

トレーラーに実際乗車していただき、バックの姿勢をとってもらった。ちなみに日本一の副賞はアメリカ旅行。奥さんと一緒に楽しんできたとのこと。

運転のプロが語る安全運転の極意

有機資源循環計画
えこ3プランの町
目指せISO14001取得
R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

全日本トラック協会主催の第三十二回全国トラックドライバーコンテストのトレーラー部門で日本一の栄誉に輝いたのが旭田守さんだ。「トラックドライバーにとっては名誉なことですよね。だからこそチャレンジのしがいもありますし」と語るように、今回が三回目のチャレンジだった。「今まで二回、一般部門で出場したんですが、壁は厚かったですね。今回は、普段は運転することが少ないトレーラー部門でしたが、イメージトレーニングと筆記試験の勉強をした甲斐がありました。えっ？ 反響ですか。会社の人たちはもちろん喜んでくれましたし、友だちもお祝いをしてくれました。新聞にも取り上げられたんで、近所で声をかけられることもありましたね」。

そんな運転のプロ中のプロに、安全運転の極意を聞いた。「どんな車でも運転は同じです。例えば最近多いのが、右折・左折時のウィンカーの出し遅れるドライバーですね。三〇m前が基本なんですが、曲がる直前で出す車が多い」。やはり「基本」なのだ。

町長メッセージ

新たな胎動を感じた今年の特産品づくり

今年も残すところ少なく、数えるほどになりました。それぞれのご家庭でも一年を振り返り、話題にすることも多いことでしょう。

町でも特産品づくりのため、ヒメノモチ、南部小麦、大豆の加工品の商品化に向け、町民と職員が一丸となって取り組み、実現することができました。数量はまだまだ少ないものの将来にむけて展望が開けたと感じています。またソバの作付け面積を今後も増反しなければならない状況にあるため、ソバの加工についても力を注いだ一年でありました。菓子の原料として利用したり、地域の奥様方が中心になりそば打ちを試作したりしました。将来は町内にそば街道や安全でおいしい地元産の手打ちそば屋ができることを期待したいものです。そばを好むのは日本人にとって、古里の味として記憶されているからであり、小職も大好物です。

先般、生産組合の方々のご案内で試食した時、モチを入れたちからそばをいただきました。紫波町ならではのアイデアと思うとともに、いつの日か商品化される日を期待し、その場を後にして参りました。

当町では米作を中心に果樹、野菜、花などが四二〇〇ヘクタールに作付けされていますが、これら農産物のほかにも、畜産などそれぞれの分野において、当町の特色を生かした産品で、付加価値の高い商品の販売を目指して頑張っていただいております。その方々を支えるのが行政の仕事、役割と考え、来年も町民の皆さまと一体となり、特産品作りに邁進して参ります。

良い年をお迎えください。来年もどうぞ宜しくお願い致します。

（藤原　孝）

編集後記

突然の大雪に「アッ、自動車のタイヤ!」とあわてたのは私だけだったのでしょうか。「今年の反省」＆「来年の目標」として、「何ごとも余裕を持って前向きに」と思っているのですが…。反省はともかく、年末発行のお知らせ版と１月号の追い込みに前進あるのみです。かぜなどひいていられませんね。（佐藤）

【ご意見・情報は】

企画課「紫波ネット」情報係まで
〒028-3390　岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1
FAX 672-2311

【ホームページアドレス】
http://www.town.shiwa.iwate.jp
【メールアドレス】
info@town.shiwa.iwate.jp

【紫波ネット12月号】〈平成12年12月10日発行〉
発行◆紫波町
〒028-3390　岩手県紫波郡紫波町日詰字西裏23-1　☎672-2111
印刷／川嶋印刷株式会社